

(別紙)

## 障害福祉分野のロボット等導入支援事業(令和4年度第二次補正予算分) (施設等に対する導入支援分) 事業報告書

自治体名 福井県

### 【基本情報】

フリガナ	シャカイフクシホウジン クスリユウコウセイジキョウダン
法人名	社会福祉法人 九頭竜厚生事業団
フリガナ	クスリユウワークショップイズミノサト
事業所名	九頭竜ワークショップいずみの郷
施設・事業所種別(指定を複数受けている場合は、補助上限額を適用する施設・事業所を選択)	
障害者支援施設	
職員数(常勤換算数)【「従事者の1ヶ月の勤務時間」/「事業所等が定めている、常勤の従事者が勤務すべき1週間の時間数 × 4(週)」にて算出(産休・育休、休職は除く)】	
26.8 人	

### (1) 主な導入機器内容(種別・機器名等)

機器の種別:  移乗介護                       排泄支援                       入浴支援  
 移動支援                                       見守り・コミュニケーション

### (2) ロボット機器等導入前の定量的指標及びロボット機器等導入後の定量的指標

#### ① ロボット機器等導入前の業務時間内訳

業務内容	A.業務従事者数	発生件数		D.1件当たりの平均処理時間(分)	人時間 E(A×C×D)	1人あたり業務時間 (C×D/A)	
		B.ひと月当たり	C.年間発生件数(B×12)				
直接介護	1 移動・移乗・体位変換	20 人	2,070 件	24,840 件	14 分	115,920 人時間	290 時間
	2 排泄介助・支援	20 人	540 件	6,480 件	20 分	43,200 人時間	108 時間
	3 生活自立支援(※1)			0 件		0 人時間	#DIV/0!
	4 行動上の問題への対応(※2)			0 件		0 人時間	#DIV/0!
	5 その他の直接介護			0 件		0 人時間	#DIV/0!
間接業務	6 巡回・移動			0 件		0 人時間	#DIV/0!
	7 記録・文書作成・連絡調整等(※3)			0 件		0 人時間	#DIV/0!
	8 見守り機器の使用・確認			0 件		0 人時間	#DIV/0!
	9 その他の間接業務			0 件		0 人時間	#DIV/0!
			2,610 件	31,320 件	34 分	159,120 人時間	#DIV/0!

※1 入眠起床支援、利用者とのコミュニケーション、訴えの把握、日常生活の支援  
 ※2 徘徊、不潔行為、昼夜逆転等に対する対応等  
 ※3 利用者に関する記録等の作成、勤務票等の作成、申し送り、文書検索等

以下の※1及び※2については、ロボット機器等導入前の実際の業務状況に即した算出をお願いします。

#### <※1>B. ひと月当たり発生件数の算出方法

算出方法: [利用者1人あたりの回数/日] × [対象利用者数] × [30.4日間]
①移乗介助 : 8.5回 × 8人 × 30.4日 = 2,070件
②排泄介助 : 3.5回 × 5人 × 30.4日 = 540件

#### <※2>D. 1件当たりの平均処理時間の算出方法

①移乗介助 : ベッド上臥位から起き上がり、ベッド上座位から車椅子への移乗介助にかかる時間の実測値 (場合によっては、スライドボード等を使う場合あり)
②排泄介助 : トイレへの移乗、後始末(清拭)、更衣の介助にかかる時間の実測値 × 対応職員数(2人) (移乗介助が必要な利用者へは2人介助で行う。1人は移乗・立位保持介助、1人は後始末、更衣介助)

#### ② ロボット機器等導入後の業務時間内訳

業務内容	A.業務従事者数	発生件数		D.1件当たりの平均処理時間(分)	人時間 E(A×C×D)	1人あたり業務時間 (C×D/A)	
		B.ひと月当たり	C.年間発生件数(B×12)				
直接介護	1 移動・移乗・体位変換	20 人	2,070 件	24,840 件	12 分	99,360 人時間	248 時間
	2 排泄介助・支援	20 人	540 件	6,480 件	15 分	32,400 人時間	81 時間
	3 生活自立支援(※1)			0 件		0 人時間	#DIV/0!
	4 行動上の問題への対応(※2)			0 件		0 人時間	#DIV/0!
	5 その他の直接介護			0 件		0 人時間	#DIV/0!
間接業務	6 巡回・移動			0 件		0 人時間	#DIV/0!
	7 記録・文書作成・連絡調整等(※3)			0 件		0 人時間	#DIV/0!
	8 見守り機器の使用・確認			0 件		0 人時間	#DIV/0!
	9 その他の間接業務			0 件		0 人時間	#DIV/0!
			2,610 件	31,320 件	27 分	131,760 人時間	#DIV/0!

以下の※3及び※4については、ロボット機器等導入後の実際の業務状況に即した算出をお願いします。

#### <※3>B. ひと月当たり発生件数の算出方法

算出方法: [利用者1人あたりの回数/日] × [対象利用者数] × [30.4日間]
①移乗介助 : 8.5回 × 8人 × 30.4日 = 2,070件
②排泄介助 : 3.5回 × 5人 × 30.4日 = 540件

#### <※4>D. 1件当たりの平均処理時間の算出方法

①移乗介助 : ベッド上臥位から起き上がり、ベッド上座位から車椅子への移乗介助にかかる時間の実測値 (ベッド上座位から、介護ロボットを使用して車椅子へ移乗)
②排泄介助 : トイレへの移乗、後始末(清拭)、更衣の介助にかかる時間の実測値 × 対応職員数(1人) (介護ロボットを用いることで1人介助で可能。介護ロボットによる移乗、立位保持。その間に後始末や更衣介助)

年間業務時間数想定削減率(%)

17.2%

(3)削減率が20%を超える場合は、その要因について記載すること。

--

(4)ロボット機器等の導入により得られた気づきや今後の課題等について必ず記載すること。

①介護ロボットを用いることで、職員の身体的ストレスは軽減できたとの意見あり。又、機械が苦手な職員がおり、逆にストレスになるという意見もあった。 ②2人介助で行っていた排泄介助が1人で実施可能になったことで、補助にあっていた職員の時間確保ができた。 確保された時間について、有効活用するため、業務シフト等の再検討が必要。 ③介護ロボット1台での対応であるため、使用時間が重ならないよう業務調整を行う必要がある。 ④機械操作について、研修および定期的なチェックを行う必要がある。
---

(5)費用面での効果(ロボット機器等の導入による費用の縮減の有無を必ず選択すること。)

ロボット機器等の導入による費用の縮減	無
--------------------	---

ロボット機器等の導入による費用の縮減が「有」の場合、以下を回答すること。

縮減額(円)	
職員の賃上げ等への充当	
その他職場環境の改善への充当(※1)	
サービスの質の向上に係る取組への充当(※2)	

(※1)その他職場環境の改善の具体的な内容について記載すること。

--

(※2)サービスの質の向上に係る取組の具体的な内容について記載すること。

--